

新春を迎えて

町長 池部 彰



平成十八年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、アメリカ南部を襲った超大型ハリケーン「カトリーナ」をはじめ、九州地方に大きな被害をもたらした台風十四号など、自然の脅威を改めて感じさせられた年でありました。また、アスベスト被害や耐震強度偽装が顕在化し、大きな社会問題となった一方で、夏の甲子園で駒大苫小牧高校が五十七年ぶりとなる連覇を達成し、南富良野高校軟式野球部が全道大会で四強に進出するなど、明るい話題も記憶に新しいところがございます。

また、本町落合出身の目黒萌絵さん・寺田桜子さんが、今年二月にイタリアのトリノで行われるオリンピック冬季大会カールリング競技の日本代表に決定し、遂にスポーツ大会の最高峰でありますオリンピックへの出場という快挙を成し遂げられました。本町出身者からオリンピック選手が誕生することはこの上ない栄誉でございます。心から祝福申し上げ、町民皆様と一緒にトリノでの活躍を期待してまいりたいと思います。

さて、国の経済は、構造改革の推進や中国景気などに支えられ、国内民間需要を中心に緩やかな回復が続いていると言われておりますが、道内の経済環境は依然として厳しい状況が続いております。

本町の商工業については、購買力の減少や流出など、町内消費の落ち込みが著しい状況の中、行政といたしまして、商店企業の経営安定のため、融資制度の充実、住宅建設関連の補助事業創設、創業支援策など様々な施策を展開してきたところであります。今後とも行政、商工会、企業が一体となり、商工業の持続性を高めるため、努力してまいります。

農業についてはありますが、昨年は雪解けの遅れや天候により、作物によって収穫量や収入にバラツキがあり、農業経営者は大変厳しい状況であったと思っております。これに加えて、ジャガ

平成十八年 元旦

年頭に当たって

町議会議長 新田 信一



平成十八年の輝かしい新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、我が町に台風などの被害が少なく、平穏な一年であったと思っております。

日本全土に目を向けてみますと、相変わらず九州などで地震が発生しており、一昨年の中越地震で避難生活を余儀なくされた方々が、一年を過ぎてもプレハブ住宅で生活を送られているなどが報道されています。また、JR西日本では、あつてはならない痛ましい事故が発生し、尊い生命が奪われるなど多くの犠牲者を出しており、あらためてご冥福とお見舞いを申し上げます。次第であります。

また報道によると、耐震強度偽装問題、小学校低学年に対する誘拐殺害事件など弱者を狙う犯罪が増加しており、憂慮する昨今かと心を痛めております。

暗いことばかりの中で、甲子園では駒澤大学附属苫小牧高等学校が一昨年に続き連覇を成し遂げ、我が町においても、南富良野高等学校野球部が全道大会に出場、町のカーリング場で練習を重ねジュニア大会で活躍された、落合出身の目黒萌絵さん・寺田桜子さんが、トリノで開催されるオリンピックのカーリング女子の日本代表となるなど、喜ばしい話題もあります。どうかお二人には、日頃の練習の成果を発揮し、優勝をめざし頑張ってくれることを願っている次第であります。

平成十八年 元旦